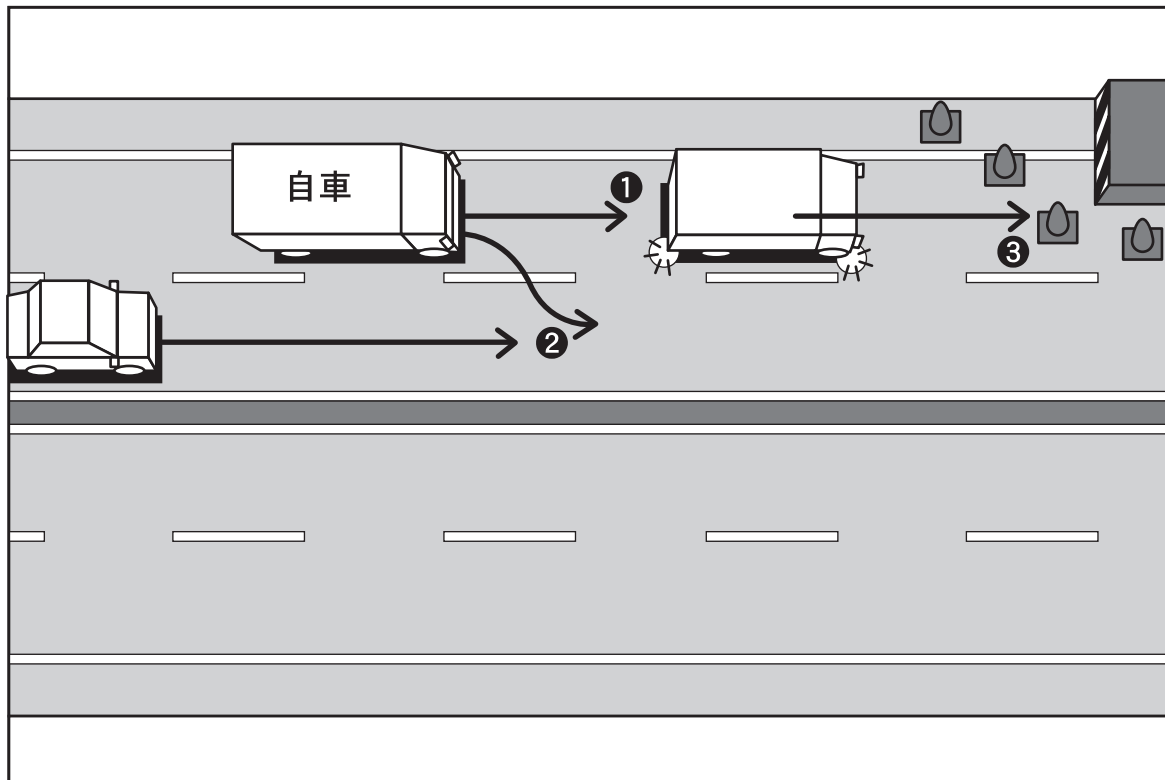


〔トラック4〕 高速道路の走行



1．主な危険要因の例

- ① 道路工事のために進路変更しようとして減速した前車に気付くのが遅れると追突する危険がある。
- ② 前車との追突を避けるためや、工事現場を避けるために急な進路変更をすると後続車と衝突する危険がある。
- ③ 前車が進路変更をした後で前方の工事現場に気付いた場合は、進路変更をするのが遅れて工事現場に突入する危険がある。

2．安全運転の例

高速道路では電光掲示板等で道路工事の情報をつかむとともに、標識等に注意して工事現場を早めに発見する。

工事現場の直近での急な進路変更はきわめて危険なので、工事現場に近づいたら、早めに進路変更をする。

進路変更をするときは、必ず後続車の有無を確認する。

3．乗務員指導のポイント

一定期間の集中工事など、あらかじめ道路工事が行われることがわかっている場合には、点呼時にその旨を伝達し、早めの進路変更などのアドバイスを与える。

道路工事のときには渋滞が予測されるので、それを計算に入れた運行計画を立てるとともに、渋滞に巻き込まれても焦ったり、渋滞を抜けた後で先を急ごうとしてスピードを出し過ぎないようにアドバイスする。